



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2024年2月から2024年9月にNCNPバイオバンクに試料・情報を提供いただいた側頭葉てんかんと診断され、かつ既存てんかん薬が著効しなかった方

【研究課題名】

側頭葉てんかん患者の海馬病理評価

【研究責任者】

中原 聡一郎（アステラス製薬株式会社）

【本研究の目的及び意義】

本研究では側頭葉てんかん患者の脳組織を使って、病気の原因や仕組みを詳しく調べ、開発中の薬が実際に効果があるのかを確かめることを目的としています。

【本研究に提供する試料・情報】

海馬組織切片

年齢、性別、病歴、服薬歴、併発疾患履歴、発作焦点場所、発症からサンプル入手までの期間、1日当たりのてんかん発作頻度または脳波上でのてんかん活動の履歴、両側性と一側性のいずれか、海馬硬化の有無、検体取得日、切片作成日

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2027年3月31日（利用開始予定：2025年6月頃）

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)